

分科会開催報告書

報告日 令和 4年 1月 16日 (日)	報告者 佐藤和広
分科会名 古文書を読む会	開催テーマ 第一学習参勤交代 (松平春嶽) ④
開催日時 令和 4年 1月 13日 (木) 午前 10:00 時 ~ 12:00 時	開催場所 金沢公会堂第二会議室
参加人数 古文書を読む会会員 男 9名 女 3名 合計 12名 欠席者 2名	
<p>四日</p> <p>大井川は急流にて箱根嶺とをさして海道第一の難所といへり。大井大明神の札を捧げて無事に渡る。この川駿河と遠江の境なり。小夜の中山には名物の飴を売る。掛川宿に入る、大井川を渡りし故 江戸と国元へ飛脚に安否の書簡を託す。</p> <p>端午</p> <p>天竜川までの近道あり、しかしその道は悪路也。凡君命を受けて旅する者は本道を行くべし、なまじいに近道を通って事故を起こしたら如何すべきや。浜松宿の辺りにサイカガケなる場所あり。ここは神君が三方ヶ原の戦いにて御難戦ありし時討死の人々の墓ありしと聞こゆ。</p> <p>六日</p> <p>宇布見に至り、源左衛門か舎に至る。我が先祖黄門・結城秀康公はこの源左衛門宅にて生まれさせ給ふ。御母堂お万の方也。予一度この家に立ちよらん事を願いしに、今年折を得て来たりし事、本懐の至り也。</p> <p>舞阪駅より浜名湖を経て荒井 (新居) 番所、此の湖明応の大地震により湖口決壊し海と通じ今切と呼ぶ。白須賀宿塩見坂より東行の旅人富士山初めて見える由。やがて遠江と三河国境の堺川 (巾1 mの小川) を渡り行けば御油宿、赤坂宿なり。</p>	
次回予定 令和4年1月27日 (木) 10:00~12:00 場 所：金沢公会堂第二会議室 テーマ：第二学習 島原の乱⑬	